

令和 2年 3月31日

新潟市立乳児院

令和元年度

事業報告書

指定管理者

社会福祉法人 愛宕福社会

理事長 石崎 昂一 印

1. 管理運営業務の実施状況

今年度は、2015年から2019年までの指定管理期間の最終年だった。昨年度から定員10名での運営を行っている。入所措置数としては定員内で推移したが、一時保護を含めると定員に達し、10月以降は、定員越えが常態化していた。手厚い人員配置を敷くことでこの状況に対応してきたが、一時保護依頼が多くあり引き受けられない状態、養育者以外の専門職総出での対応（ショートステイ預かりも含め）をし、乳児院としての機能を果たしてきた。

今年度は、当施設が関与しての里親への委託は5ケースあり、里親担当のF S Wが中心となり、養育者や栄養士などと協働しながら様々な取組みを児童相談所の担当ケースワーカーや里親推進のワーカーに相談提案をしながら支援に取り組んだ。「里親さんと施設は養育のチームである」というメッセージを里親さんには研修や実習、マッチングの際に伝えたり、職員には研修等を通じて涵養してきた。

今年度は、第三者評価受審の年度でもあった。「リフレクション（内省）による個人と組織の資質向上に努めている」「子どもの最善の利益に配慮し未来を見通した養育支援に全職員で研鑽し取り組んでいる」「施設組織の経営に職員が主体的に取り組んでいる」という点について特に評価をしていただいた。課題としては「職員の経験年数や力量に応じた、段階的な専門性の獲得に向けた支援が期待される」「子どもに関する情報の精査と業務負担の軽減への取り組みが期待される」の2点についてご指導いただいた。乳児院の業務、養育については高い専門性が求められるため、O J Tや研修の工夫などをして人材育成に取り組んでいきたい。また、業務過多となっているため、業務負担の軽減や効率化に取り組んでいきたい。

一時保護の受け入れについては、定員内を基本として受け入れをしているが、小規模グループケアの養育の中に、一時的に出たりはいたりする状況が、入所の乳幼児の不安定さにつながっている。受け入れる部屋や人員などの課題は大きいと感じた1年でもあった。

2. 苦情及び要望等の受付状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 里親研修受け入れの状況

月 日	里親研修の区分	人数	管轄児相	実習内容
7月19日	更新研修(養育)	2	中央	施設見学 乳幼児との関わり等 職員との振り返り
7月24日～25日	登録前研修(養育・養子)	1	新潟市	施設見学 乳幼児との関わり等 職員との振り返り
7月31日～8月1日	登録前研修(養育・養子)	2	新発田	施設見学 乳幼児との関わり等 職員との振り返り
8月12日～13日	登録前研修(養育・養子)	1	新潟市	施設見学 乳幼児との関わり等 職員との振り返り
8月15日～16日	登録前研修(養育・養子)	2	上越	施設見学 乳幼児との関わり等 職員との振り返り
8月20日～21日	登録前研修(養育・養子)	2	中央	施設見学 乳幼児との関わり等 職員との振り返り
8月31日～9月1日	登録前研修(養育)	1	南魚沼	施設見学 乳幼児との関わり等 職員との振り返り
9月11日～12日	登録前研修(養育・養子)	1	新潟市	施設見学 乳幼児との関わり等 職員との振り返り
11月6日～7日	登録前研修(養育)	2	新潟市	施設見学 乳幼児との関わり等 職員との振り返り
11月9日～10日	登録前研修(養子)	1	新潟市	施設見学 乳幼児との関わり等 職員との振り返り
11月27日～28日	登録前研修(養育・養子)	2	新潟市	施設見学 乳幼児との関わり等 職員との振り返り
11月30日～12月1日	登録前研修(養育)	1	新潟市	施設見学 乳幼児との関わり等 職員との振り返り
1月24日～25日	登録前研修(養育・養子)	2	中央	施設見学 乳幼児との関わり等 職員との振り返り
2月12日～13日	登録前研修(養育)	1	新潟市	施設見学 乳幼児との関わり等 職員との振り返り
3月12日～13日	登録前研修(養育)	2	新潟市	施設見学 乳幼児との関わり等 職員との振り返り
合 計		23		

* 1月23日 令和元年度新潟市養育里親及び養子縁組里親基礎研修 スタッフ参加(2名)

* 2月4日 令和元年度新潟市養育里親及び養子縁組里親(登録前)研修 スタッフ参加(1名)

今年度は、23名の里親実習を受け入れた。(昨年度実績10名) 施設単独で里親担当職員を置くことで里親実習の受け入れをスムーズにしておくことができるようになった。また、新潟市単独の里親研修に参加させていただくことにより、同じ社会的養育を行う仲間としてのメッセージを伝える機会となり、里親さんと施設間の相互理解が深まるきっかけとなった。

養育実習後のアンケートでは、満足度は100%(別紙参照)

4. 実習生受け入れ状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
保育	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	5
社会福祉士			1				(1) 再括						1
その他					1								1

その他 高校生職場体験
1校1名月1名で調整している(里親養育実習もあるため)

5. ボランティア受け入れ状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	9	14	9	21	23	17	26	21	15	15	22	8	200

合計受け入れ数 200名(前年165名:35名増)
定期ボランティア アリスの会(3名) 個人 4名
他随時ボランティア 不定期ボラ

6. マニュアルの改訂

今年度も見直しを実施し、養育の手順変更があったもの、内容変更があったものについてマニュアルの変更差し替えを実施した。

*差し替えたマニュアル 保健管理 感染症および疾病(インフルエンザ) 新入職員OJT
食物アレルギー 防災 入浴・沐浴 授乳 記録 保育実習

7. 防災訓練

(回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
火災	1	1		1		1	1		1	1	1	1	9
地震			1					1					2
風水害					1								1
救命				1		1	1					1	4
防犯				1					1				2
連絡網			1									1	2

- * 1月、2月は消防署に届け出をしておいた訓練実施
- * 7月に消防署員さまによるAED訓練を実施
- * 7月警察署員さまによる防犯訓練を実施
- * 6月にラインによる連絡 3月に電話による連絡訓練
- * 地域・鏡淵小合同防災訓練に参加(9月7日)

8. 事故防止の取り組み(ヒヤリハットの収集と分析)

(枚)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	77	109	117	113	88	137	119	95	133	141	186	148	1463

- * 1件につき数名からのヒヤリハットも含む
- * 毎月収集してリスクマネジメント委員会にて検討し次月の予測をし職員会議での周知啓蒙を実施
- * 6月と10月にリスクに収集分析の検証結果とリスクマネジメントについての研修を開催

ヒヤリハットについては、職員の意識が高く「少しのこと」「こんなことぐらい」という意識はもたず、各職員が積極的にヒヤリハットを提出している。
11月にヒヤリハットの提出枚数が減少した時点で、リスクマネジメント委員会より啓蒙活動を行い、意向は意識を高くもち、特に2月は、186枚と過去最高枚数を記録している。集計する職員の負担も多いが、

9. 地域との連携 地域への貢献

① BPプログラムの継続実施

昨年度までは、新潟市からの委託事業として実施していたが、今年度は乳児院の事業として実施

8月19日から9月9日までの週1回(4回) 参加者 6名
11月11日から12月2日までの週1回(4回) 参加者 8名

- * 終了後は、八千代保育園併設の子育て支援センターに繋げて、継続した支援が受けられるよう努めた。
- * 離乳食の悩みがでてくることを想定し、離乳食講座に繋げた。

② 離乳食講座

グループ講座

実施日	実施人数
11月12日	2名
12月18日	3名
2月19日	4名
合計	9名

個人別講座

実施日	実施人数
1月24日	1名
3月13日	1名
3月25日	1名
3月27日	1名
3月30日	1名
合計	9名

- * BPプログラムからのグループ講座は少人数のグループで実施し、保育園入園を控えての悩み、離乳食を食べないなどの悩みなどに個別に対応をした。それぞれの家庭事情、環境などでグループでは話せない悩みなどに対応した。

③ 地域との交流

- *隣接する八千代保育園併設の子育て支援センターちゅうりっぷの利用

述べ 102人

- *その他の利用施設

鳥屋野総合体育館 いーてらす こども創造センター・いくとぴあ・保育園の園解放
なかなかふるまち 東総合スポーツセンター等の利用を通して、一般家庭と同じように
地域の子育て家庭との交流をおこなった。

当施設は、児童相談所、陸上競技場、家庭裁判所、市役所などが集中している公的施設集中
地域であり、民家がないため地域住民の日常を通じた交流は持ちづらいため、積極的に、子育て
支援施設にでかけるなどして地域の交流を図っている。

- *鏡淵地区の防災訓練に毎年度参加
今年度は、9月7日